



かなりや組だより

令和6年12月1日
第二ふたば園
かなりやぐみ

今年も時間は瞬く間に過ぎていき、あっという間にあとひと月となりました。ハーモニカで吹く『ジングルベル』の音色や、サンタさんにツリーのお話。子どもたちの気持ちはもうすでにクリスマスです。寒さが厳しくなってくる時期ですが、健康管理に気をつけながら過ごしていきます。今年も1年ありがとうございました。



「めっきらもっきらどおんどん」



いよいよ今月は発表会です。発表会の演目について紹介したいと思います。劇遊びでは『めっきらもっきらどおんどん』というお話を表現します。お宮の木の穴に吸い込まれたかんたが、不思議な世界へんてこな妖怪たちと遊ぶ物語。この絵本を、どのように劇にするかみんなで楽しみながら考えています。「どんな風に動こうか」「何を使おうか」など、子どもたちと一緒に考えていく中で、保育者と一緒にだけでなく、友だち同士でも相談ができるようになってきた姿に、成長を感じています。かなりや組アレンジも加わり、当日は可愛らしい劇遊びができるよう、子ども達と一緒に構想中です！



「今週は何をする？」

毎日の朝の会では、今日の活動のお話がありますが、かなりや組では10月頃から、今週の予定を、担任だけでなく子どもたちと一緒に考えています。

月曜日の朝、カレンダーを見ながら、「日程が決まっている行事」「みんながやりたいこと」「先生がやりたいこと」の3つを話し合っています。やり始めた頃は、「やりたいことはある？」と聞いても、なかなか思いつかなかったり、散歩！制作！といった単語での返答でしたが、最近では、「～をしたいから〇〇公園に行きたい」「～の制作をしてみたい」「最近やってないからリトミックをしたい」などの具体的な意見が、色々な子から聞かれるようになっていきます。子どもたちの希望が全て叶う訳ではないのですが、「今週はできないけど来週ならできるよ」「～ならできるよ」と代替案を伝えると、「いいね！たのしみ！」と、快く賛成してくれて、前向きなこのクラスの良い所だなあと毎回思っています。一週間の予定をみんなで話す時間を通して、期待をもって園生活を送ったり、見通しを持って過ごす力を身につけていって欲しいと願っています。